

論文概略

論文タイトル	Development of robots for rehabilitation therapy :The Palo Alto VA/Stanford experience	
掲載誌名	Journal of Rehabilitation Research and Development	
巻号項	Volume 37 Number 6 Page 663	
出版年	2000 年	
支援機器	MIME(mirror-image motion enabler) 治療用ロボット	
分類(ISO9999)	4	
試験相	2	
研究仮説 (目的) の概要	三次元運動で上肢を完全にサポートし、passive、active、resistire を取り入れたシステムで、より大きな改善がある可能性がある	
研究デザイン	群間比較 (ランダム化)	
障害・疾患	片麻痺	
対象者・数	障害者 21 人	
主要アウトカム	FM テスト	
副次アウトカム 1		
副次アウトカム 2		
副次アウトカム 3		
副次アウトカム 4		
副次アウトカム 5		
統計学的検定	有	
結果の概要	ロボット群で有意な改善があった (肩と肘で改善、手は有意差なし)	
論文整理番号	112	※正確な情報が必要な場合には、元の論文を確認してください。

「支援機器の臨床評価および利用効果データベース」
支援機器イノベーション創出のための情報基盤構築に関する研究
(H26～28 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業)

国立障害者リハビリテーションセンター